



## 急な発熱の場合

取りあえずの対処法をお知らせします

- ① まず、お子様の様子をみましょう。「くう、ねる、遊ぶ」大丈夫でしょうか？  
取りあえずそそ、食欲が有り、眠れていて、元気なら急いで救急外来に走る必要はありません。
- ② 熱が高く、辛そうなら解熱剤を使いましょう。手持ちの解熱剤があれば使って下さい。  
無ければ小児用バファリンを薬局でお求め下さい。
- ③ 冷えピタを貼る事で熱が下がることはありません。でも冷えピタを貼って、お子様の気分が良そうなら貼って下さい。貼るのを嫌がるのに無理に貼る必要はありません。
- ④ 元気がない、顔色が悪くてぐったりしている時は、急患センターを受診して下さい。



※ 残った薬は：薬は指示通り飲んで、余った薬は捨てるのが原則です。しかし、実は同じような症状なら、同じような症状の時に処方された薬を飲んでも大変なことにはなりません。

※ 薬の有効期限の目安：水薬は10日、粉薬は半年、錠剤は1年位が有効期限と考えて下さい。しかし、薬の本当の有効期限は意外と長く、適切な場所に保管されていれば錠剤で30年くらいは問題ないそうです。期限切れかなと思われる薬でもとりあえず使っても問題ないです。

